

高品質・低コスト。



イネWCS

(ホール・クロップ・サイレージ)

「たちすずか」「つきすずか」は背が高くて籾が少なく、糖分を多く含み、牛に消化されやすいため、イネWCS(飼料)に最適な品種です。これら品種を微細断しながら収穫して高密度に輸送できる収穫機と、低温時でも発酵を促し変敗を防ぐ乳酸菌「畜草2号」を組み合わせれば、高品質で低コストなイネWCSの生産が可能です。

品質が良くコストが低いサイレージを作るために 必要な3つの技術のセット



1

イネWCS専用品種 「たちすずか」「つきすずか」

- 「たちすずか」は穂が小さく糖分を多く蓄積する茎葉が多く、WCSに適する品種です。
- 「たちすずか」のWCSは家畜の消化性が高いのが特長です。
- 「つきすずか」は「たちすずか」の諸特性を受け継ぎながら縞葉枯病への抵抗性も付与されており、縞葉枯病の発生するリスクが高い地域で栽培できます。

■栽培特性（西日本農業研究センター 2013～2016年の平均）

品種名	出穂期 (月日)	黄熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	籾割合 (%)	黄熟 乾物重 (kg/a.%)
たちすずか	9.02	10.03	119	14.8	7.1	170 (100)
つきすずか	9.03	10.03	121	12.9	2.8	173 (102)
タチアオバ	9.02	10.20	110	24.9	34.5	189 (111)

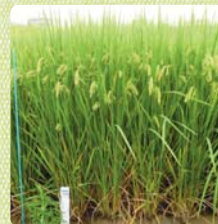
穂長、籾割合は2014～2016年の平均

■病虫害抵抗性

品種名	縞葉 枯病	白葉 枯病	除草剤
たちすずか	罹病性	極強	抵抗性
つきすずか	抵抗性	強	抵抗性

除草剤: 4HPPD阻害型除草剤(ベンゾピシクロン、メソトリオン、テフリルトリオン)に対する反応。

■たちすずか
(2014
福山市)



■つきすずか(2016 前橋市)

縞葉枯病の多発地帯でも抵抗

従来の飼料用品種「タチアオバ」に比べて「たちすずか」と「つきすずか」は背が高く、穂が小さく、家畜に消化されにくい籾が少なくなっています。



2

収穫物を高密度に輸送できる 水田に適した微細断収穫機

- 「たちすずか」のように背の高いWCS用イネを最短6mm（理論切断長）に細断しながら収穫します。収穫物はトラックへ荷移して高密度輸送し、飼料基地や牧場で簡易バンカーサイロやロールベールに調製できるので、輸送コストが低減されます。
- コスト低減の条件は、
圃場-飼料基地間の輸送が片道20分以内です。
- 汎用型の微細断飼料収穫機は
(株)タカキタより販売中。



(株)タカキタ SMW5200
全長6.8m 全幅2.25m
全高2.8m 重量4.65トン

バンカーサイロ、ロールベール調製を併用した大規模モデル。飼料用トウモロコシなども可能。

研究協力機関: 広島県立総合技術研究所 畜産技術センター・広島県酪農業協同組合・岡山大学・(株)タカキタ



3

低温時でも発酵を促し 変敗を防ぐ乳酸菌「畜草2号」

- 低温下での増殖に優れる「畜草2号」は、
寒冷期でも安定した乳酸発酵を促進します。
- 優れた抗菌作用を示す「畜草2号」は、
トラブルの原因となる酵母やカビの増殖を抑制し、
開封後の発熱やサイレージのロスを低減します。
- 「畜草2号」は雪印種苗(株)より販売中。



3つの技術を合わせて調製した、黄金色で品質・嗜好性が良好なイネWCS

乳酸菌「畜草2号」の電子顕微鏡写真

共同研究機関: 雪印種苗(株)・広島県立総合技術研究所 畜産技術センター

技術に関する
問い合わせ先

「品種」および「微細断収穫機」に関して
農研機構 西日本農業研究センター(産学連携室)
TEL ▶▶▶ 084-923-5385

「乳酸菌」に関して

農研機構 畜産研究部門(企画連携室)
TEL ▶▶▶ 029-838-8647